【 検査 】

399 ヘリコバクター・ピロリ関連検査（胃潰瘍（癒痕含む。）等のない場合）の算定について

《令和6年12月27日》

○ 取扱い

ヘリコバクター・ピロリ関連検査^{*1}の算定については、次の傷病名がなく、ヘリコバクター・ピロリ感染症（疑い含む。）の傷病名がある場合であっても、原則として認められない。

- (1) 胃潰瘍（癒痕含む。）
- (2) 十二指腸潰瘍（癒痕含む。）
- (3) 胃MALTリンパ腫
- (4) 特発性血小板減少性紫斑病
- (5) 早期胃癌（内視鏡的治療後）
- (6) 胃炎

○ 取扱いを作成した根拠等

ヘリコバクター・ピロリ感染診断の保険診療上の取扱いについては、厚生労働省通知^{*2}に「ヘリコバクター・ピロリ感染の診断及び治療に関する取扱いについて」（平成12年10月31日保険発第180号）に即して行うこと。」と示されており、当該取扱い通知に「ヘリコバクター・ピロリ感染症に係る検査については、以下に掲げる患者^{*3}のうち、ヘリコバクター・ピロリ感染が疑われる患者に限り算定できる。」と示されている。

以上のことから、ヘリコバクター・ピロリ関連検査^{*1}の算定について、上記(1)から(6)の傷病名がない場合は、ヘリコバクター・ピロリ感染症（疑い含む。）の傷病名がある場合であっても、原則として認められないと判断した。

(※1) ヘリコバクター・ピロリ感染の診断及び治療に関する取扱いについて（平成12年10月31日保険発第180号、最終改正；令和4年10月31日保医発1031第5号）において、除菌前の感染診断の検査法として掲げられている次の検査
①迅速ウレアーゼ試験、②鏡検法、③培養法、④抗体測定、⑤尿素呼気試験、⑥糞便中抗原測定、⑦核酸増幅法

(※2) 診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について

(※3) ①内視鏡検査又は造影検査において胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の確定診断がなされた患者、②胃 MALT リンパ腫の患者、③特発性血小板減少性紫斑病の患者、④早期胃癌に対する内視鏡的治療後の患者、⑤内視鏡検査において胃炎の確定診断がなされた患者